

総務産業常任委員会所管事務調査報告

達布下記念別 露天坑を現地調査

本件は町からの案件として、現在達布下記念別において、採炭（露天坑）を営む吉住炭鉱株式会社（本社 奈井江町）より事業拡大（採炭地の一部拡大）に関する計画書が北海道産業局へ提出され、事業の拡大にあたり該当町として同意を求められている旨の報告を受けました。

これを受け議会としては、採掘時の汚泥水等により小平しべ川の水質環境（上水及び農業用水等）への影響が懸念され、住民の安全・安心の観点からも重要な事項と捉え、本常任委員会（藤田委員長）による調査を実施することとなりました。

調査は去る9月8日に現地にて行われ、露天坑の状況については、採掘跡地の埋戻しや整地、緑化が図られており、汚濁水の流出防止策として沈砂池を設置し、清水後に放流するなど、保全管理に関しては概ね良好であると確認できました。

同社は30年余に亘る当町での採炭実績において、環境に悪影響を及ぼすような事例も認められないこと、また、原発問題が取り沙汰される中、安全な自然エネルギーでの電力確保が重視される昨今、小平町の貴重な資源の活用は地域の活性化に繋がることでもあり、事業の拡大計画については何ら「問題がない」という結論に至り、下記の付帯要望事項を加え、町へ報告いたしました。

（付帯要望事項）

1. 沈砂池の恒常的な管理など保全管理の徹底に努められたい。
2. 水質汚濁防止法に基づく「特定施設」には該当しないが、企業努力による取り組みとして、当該河川の上流と下流での水質検査の実施とデータ管理を図られたい。
3. 今後においても、地元雇用の促進を積極的に図られたい。



姉妹都市親善訪問及びふるさと会交流レポート

「第36回小平市民まつり」

去る10月16日、今年も議会を代表して「小平市民まつり」へ参加してまいりました。

当日は晴天に恵まれ、毎年恒例の「小平町物産直売」には開始前から長蛇の列ができ、ホタテやじゃがいもなどすべての物産が完売し盛況に終了しました。

また、「あかしあ通り」を練り歩くパレードにはメインの「大人みこし」や「よさこいソーラン」のチームが華を添え、祭りの雰囲気を一層盛り上げていました。



平成23年度「東京おびら会」総会

「小平市民まつり」に引き続き、東京都内において開催されました「東京おびら会」の総会及び親睦会に出席いたしました。

出席者の中には大変懐かしい面々も数多く、東の間の交流に思い出話は尽きることがありませんでした。

また、都内はもとより、栃木県や茨城県から参加された方もおり、1年ぶりの再会と互いの健康を喜び、盛会のうちに終了いたしました。



あとがき

財政状況が厳しい中、新年度の予算編成をむかえようとしている。

道内の景気がやっと上向いて来ているとの報道もあるが、この道北の地はどうだろう。

事実はどうあれ、そう思うことが必要なのだろう。

マイナス思考ではなくプラス思考で、新年度に向けた行政の手腕と小平町民の底力に期待をします。

（藤田）

● 発行 小平町議会
● 編集 議会広報発行
特別委員会

〒〇七八―三三〇―一
留萌郡小平町字小平
町二一六

TEL (〇一六四)
五六―二二一―